

学校だより



よりよく生きる

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

発行 2026年(令和8年)3月

第14号

発行責任者 駅家中学校長



早いもので1年が終わります。

2月の下旬から、2年生の個別面談を行っています。校長と教頭で放課後や学活などの時間を使い1日4～5人ずつ行っています。

この1年を振り返って、学習面、生活面それぞれで10段階の自己評価とその理由を基に行っています。なかなか「10」と評価している生徒はいませんが、多いのは5～7ぐらいが多いかなと思います。「足りない部分は？」と問うと、学習面では「授業態度がよくなかった(私語が多い)」と、「家庭学習ができてないこと」を挙げる生徒が多いです。

生活面では5～6が多く、「時間を守れない(授業遅刻)」「掃除をしていなかった」「名札、スカート丈」等の服装の乱れ、「言葉遣い(敬語が話せない)」が多いです。

この現状を全員が「良いとは思っていない」と回答しており、ちょっと意地悪に「なぜ良くないと思っているのか？」と問うと、大半が「1年後の進路を考えたとき、このままではだめだと思っている」と全員が答えました。さらに「それに気づいたのはいつ?なぜ、今気づいたのか?」と問うと、「2月5日の進路学習会での話から」と大半の生徒が答えました。

進路学習会では岡山龍谷高校の先生から進路決定に向けての考え方や、どんな力を付けておかなければならないか具体的に話を聞いてから気持ちを入れ替えようとしている生徒が多いと感じました。

「あっという間の2年間」と感じている生徒も多く、1日でも早く良くない習慣ややっていない習慣を変えていかなければいけないと話しました。

習慣は簡単には身につけません。1日でも早く、1日でも忘れず継続することでしか習慣にはなりません。そこにエネルギーがかかってしまうことが続かない原因でもあります。でも…、やらなきゃいけないことはやらなきゃいけない、やっちゃいけないことはやっちゃいけないことを習慣にして欲しいですね。

自分のために…。1年後の理想に近づいていて欲しいです。

3月6日卒業式がありました。

104名の3年生が中学校を巣立っていきました。

それぞれの人生がよりよいものになることを職員一同願っています。



そして世代交代 2年生の生徒会長・副会長は何を想う？

○生徒会 会長 谷田紗菜

- 公約
 - ・行事をさらに最高なものにする
 - ・「ありがとう」「おはよう」等の言葉(挨拶)が絶えない学校
 - ・生徒の声を集める場をつくる

生徒会長として目指している学校は、感謝の言葉で溢れて誰もが安心して過ごせる学校です。みんなが仲良く自然と笑顔が増える学校は一人ひとりが相手の気持ちを考え、違いを認め合うことでつくられると思っています。

生徒会では、生徒の声にしっかりと耳を傾け、学校生活の中で感じている不安や悩みを共有できるような取り組みを大切にしていきたいです。また、挨拶や感謝の気持ち、さりげない思いやりが当たり前になる学校の雰囲気づくりにも力を入れていきたいです。

そして、行事活動をさらに良いものにしていきたいです。

学校は生徒会だけで帰られるものではありません。しかし、私たち一人ひとりの行動が、学校を少しずつ良くしていく力になると思っています。

生徒会長として、そのきっかけが作れるように努力していきます！

一人で決めるのではなく、周囲の意見を引き出し、まとめて、行動につなげる役割を意識していきます。

○生徒会 副会長 藤田哲平

生徒会副会長として理想の学校は、学校の雰囲気がよくてみんながメリハリの意識を持っていて、楽しく過ごしやすい学校です。

理想の学校をつくるには、一人一人が自分の課題を理解し、それを改善しようとするのが大事だと思います。僕は、昨年も副会長と生徒会にいましたが、周りの先生から「本当に副会長?」と言われるほど副会長としてふさわしくない授業態度や生活態度でした。ですが、副会長という立場は基本的に生徒のお手本になるべき立場なので、今年は理想の学校をつくるためにも僕自身が課題を解決して、学校を少しずつ変えようと思います。

今年1年は自分も学校もよい成長ができるように頑張ります！

1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

文化祭、体育大会の感動がまだ記憶に新しいです。生徒が大きく成長できた1年間だったのではないかと思います。ご家庭においては、ご心配をおかけした場面もあったと思います。家庭でしっかりと英気を養い、支えていただき、外(学校)で頑張る力を与えていただきありがとうございます。今後とも学校と家庭で連携を取り、同じ方向を向いて生徒を成長させていくことができたらと職員一同願っております。今後ともよろしくお願いたします。